



SVALBAL

GUARANTEE & INSTRUCTIONS



取扱説明書 この度は当社時計をお買い上げくださりましてありがとうございます。

★ご使用上の注意事項

- 衝撃：軽スポーツによる影響はありません。※ただし、落としたり、強くぶつけたりしないでください。
- 磁気：磁石には近づけないでください。
- 温度：この時計は常温（5℃～35℃）で調整されていますので、極端な温度条件での使用はさけてください。
- 防水性：防水表示のある時計は下記の内容でご使用ください。
- ボタン操作：水の中、または水に濡れた状態でのボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となります。手やボタン部分が濡れていない事を充分に確認してからボタン操作を行ってください。

	一時的にかかる水滴 (洗顔、雨等)	水仕事	水泳	ダイビング
非防水	×	×	×	×
3BAR 日常生活防水	○	×	×	×
5BAR 日常生活強化防水	○	○	×	×
10BAR 日常強化防水	○	○	△	×
20BAR スポーツ防水	○	○	○	×

3針タイプ操作方法 時刻の合わせ方

リュウズを回して時間を合わせます。数分進めてから逆にもどし、正しい時刻に合わせます。
時報サービス(TEL117)等に合わせてリュウズを押し込みます。

■すべての日付・曜日表示付きタイプのご注意

※日付は31日制になっていますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には修正が必要です。
※午後8時～午前2時までは、カレンダーを合わせないでください。(この時間帯に合わせようとしても、日付がかわらないことがあります。)
※曜日は日本語・英語の切り替え式になっていますので、好きな方を選んでご使用になれます。

日付・曜日表示タイプ操作方法 ①—日付・曜日表示のあるモデル ②—日付表示のみのモデル

日付の合わせ方 ①②
リュウズを回して日付を合わせます。

1段引く 2段引く

時刻の合わせ方 ①②
リュウズを回して時間を合わせます。数分進めてから逆にもどし、正しい時刻に合わせ、リュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。

曜日の合わせ方 ①
リュウズを回して曜日を合わせます。※日付と反対に回すと曜日が合わせられます。

ムーンフェイス付マルチハンス 操作方法

◎ SV-03・SV-015シリーズ

曜日表示

日付表示

1段引く 2段引く

ムーンフェイス(月齢)

日付の合わせ方
リュウズを回して合わせます
ムーンフェイス(月齢)の合わせ方
リュウズを回して合わせます。
※日付と反対に回すと合わせられます。
新聞等に記載されている月齢表を参考にしてください。

時刻の合わせ方
下記「時刻の合わせ方」参照

曜日の合わせ方
曜日は時間と連動しています時間を進めて合わせてください。

レトログランドマルチ(多針)タイプ 操作方法

◎ SV-01・SV-02シリーズ

24時間計(時計と連動しています)
午前午後の確認が出来ます

日付表示

1段引く 2段引く

レトログランド
曜日表示

曜日の合わせ方
リュウズを回して曜日を合わせます。
※日付と反対に回すと曜日が合わせられます。

日付の合わせ方
リュウズを回して日付を合わせます。

時刻の合わせ方
リュウズを回して時間を合わせます。
数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせ、リュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。

◎ SV-06シリーズ

レトログランド 曜日表示

日付表示

1段引く 2段引く

通常秒針

日付の合わせ方
リュウズを回して日付を合わせます。

時刻の合わせ方
リュウズを回して時間を合わせます。
数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせ、リュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。

曜日の合わせ方
曜日は時刻合わせと連動しています。
正しい曜日になるまでリュウズを回し続けてください。

針日付表示(ポインターデート) ムーンフェイス 操作方法

◎ SV-010シリーズ

日付表示針

2段引く

1段引く

ムーンフェイス(月齢)

日付の合わせ方 リュウズを回して合わせます
ムーンフェイス(月齢)の合わせ方
リュウズを回して合わせます。
※日付と反対に回すと合わせられます。新聞等に記載されている月齢表を参考にしてください。

時刻の合わせ方 上記「時刻の合わせ方」参照

クロノグラフタイプの操作方法

※同じ機能であれば、デザインがイラストと異なっても操作は同じです。

●クロノグラフとはストップウォッチ機能の付いた時計です。モデルにより機能が異なりますのでお手元の時計の機能と右の図を照らし合わせてご参照ください。

【クロノグラフ計測】 ◎ SV-07シリーズ OS60 / SV-11シリーズ OS20 / SV-016シリーズ

ストップ状態

計測

リセット

注) クロノグラフ1/20秒針は1秒で1周します。スプリットタイム機能はありません。クロノグラフ計測をしていない時、Bボタンを押すたびに通常の秒針とクロノグラフモードの切り替えをいたします。

【クロノグラフ計測】 ◎ SV-09シリーズ YM92

ストップ状態

計測

リセット

注) クロノグラフ1/20秒針は1秒で1周します。スプリットタイムとはスタートから途中までの経過時間です。

〈クロノグラフ針0位置修正について〉

通常使用の場合にはクロノグラフ針は、ずれませんがクロノグラフモードの切り替えの時に針がずれる場合があります。クロノグラフ針がずれた場合は下記の要領で修正することが出来ます。

修正はクロノグラフをリセット状態にし、リュウズを引いて行います。

- 1/20秒クロノグラフ OS60 SV-07シリーズ
Aボタン1回押し：クロノグラフ針が1ステップします。(クロノグラフ針が連動)
Bボタン1回押し：クロノグラフ1/20秒針が1ステップします。(クロノグラフ針もリセットします。)
※各ボタンを押した後に連続連動します。

- 1/20秒クロノグラフ YM92 SV-09シリーズ
Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ1/20秒針が1周します。
Bボタン1回押し：クロノグラフ1/20秒針が1ステップします。
Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ秒針が1周します。
Bボタン1回押し：クロノグラフ秒針が1ステップします。
Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ分針が1周します。
Bボタン1回押し：クロノグラフ分針が1ステップします。※各ボタンを押した後に連続連動します

- 1/1秒クロノグラフ OS20 SV-11シリーズ
Aボタン1回押し：クロノグラフ秒針が1ステップします。(クロノグラフ分針が連動)

※Aボタンを押した後に連続連動します。
Bボタンを押すとクロノグラフ分針がリセットします。

◎ SV-09シリーズ 1/20秒クロノグラフタイプ YM92 (12時間計測可)

クロノグラフ秒針(1/20秒) 積算10分以内はデモ連動します。10分以降は、計測を止めたときのみ表示します。

時計

分針

通常秒針

クロノグラフ秒針(1/1秒)

クロノグラフ分針

Aボタン

リュウズ

1段引く

2段引く

Bボタン

日付の合わせ方
リュウズを回して日付を合わせます。

時刻の合わせ方
リュウズを回して時間を合わせます。
数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせ、リュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。

◎ SV-011シリーズ 1/1秒クロノグラフタイプ OS20 (60分計測可)

時計

分針

通常秒針

クロノグラフ分針

クロノグラフ秒針(1/1秒)

Aボタン

リュウズ

1段引く

2段引く

Bボタン

日付の合わせ方
リュウズを回して日付を合わせます。

時刻の合わせ方
リュウズを回して時間を合わせます。
数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせ、リュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。

◎ SV-016シリーズ 1/5秒クロノグラフタイプ VK63 (60分計測可)

時計

分針

通常秒針

クロノグラフ分針(60分計)

クロノグラフ秒針(1/5秒)

Aボタン

リュウズ

1段引く

2段引く

Bボタン

1/5秒単位の計測ができる60分計です。
60分連続計測すると自動的にとなります。

日付の合わせ方
リュウズを回して日付を合わせます。

時刻の合わせ方
リュウズを回して時間を合わせます。
数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせ、リュウズを押し込みます。
※午前・午後を間違えないようにしてください。

△ クロノグラフ計測中にBボタン1回押しでリセットしますが機械に負荷がかかりますので、おやめください。
通常使用される場合はAボタンストップ・ストップ/Bボタンストップの手順でご使用ください。
クロノグラフ秒針は、ずれません(ずれた場合は故障です。弊社サービスセンターへお問い合わせください。)

⚠ 注 意

【携帯時の注意】

- ◎時計携帯時に乳幼児を抱くときなどは、あらかじめ時計をはずすなどしてけがや事故防止に充分ご注意ください。
- ◎激しい運動・作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止に充分ご注意ください。
- ◎高温の場所では本体の故障や、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ◎時計の着脱の際、バンドの留め具の構造によっては爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ◎時計は常に清潔な状態でご使用ください。時計は携帯時直接肌に接しています。汚れたままご使用されますと、体質上皮膚の弱い方は、かゆみやかぶれが生じる場合があります。かぶれの原因として考えられるのは、金属、皮革アレルギーまたは、時計本体・バンドに発生したサビ、汚れ、汗などです。皮膚の弱い方は使用される前、予めご注意ください。異常を感じましたら、ただちに使用をやめて医師の診断を受けてください。
- ◎製品の塗装やメッキは「こすれ」によっても「色落ち」します。又プラスチックの素材色もご使用、保管の状況により「変色」します。汗やゴミなどの汚れにより衣類の袖口等を汚すこともありますので、充分に注意してご使用ください。

【時計のお手入れ方法】

- ◎ケース・風防の汚れや汗などは柔らかな布で拭き取ってください。
- ◎バンドは乾いた布で汚れを取ってください。
- ◎プラスチックやゴムバンドは湿った布で汚れを取ってください。（洗剤やアルコールなどは変色・変質の恐れがありますのでご使用しないでください。）
- ◎海水や潮風は特に、塩分が錆、腐食の原因となりますので、なるべく真水でよく塩分を洗い落とし、水気を拭き取ってください。（温水の場合は防水用部品“Oリング”などの傷みを早める恐れがありますのでご注意ください。）

【使用環境/状況・保管の注意】

- ◎分解しないでください。故障・ケガの原因となります。
- ◎床面に落下するなど、強い衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
- ◎高温や低温など、極端に温度差のあるところでは機能が低下したり停止したりすることがあります。また、常温（5℃～35℃）からはずれた温度で長時間放置しますと電池が漏れたり電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。
- ◎磁石・磁気類（磁気健康器具・バックの留め金などその他）に近づけると故障や機能精度低下の原因となりますのでご注意ください。
- ◎クォーツウォッチに内蔵されている部品は静電気に弱い性質です。強い静電気を受けると機能精度が低下する場合がありますのでご注意ください。
- ◎化学薬品類などに近づけたり、ガスの中でのご使用は避けてください。水銀またはシンナー・ベンジンなどの各種溶剤及びそれらを含有するものが付着しますと、変色・溶解・ひび割れ・変質の恐れがあります。
- ◎長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよくふき取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、寿命の切れた電池を長期間入れたまま放置しますと、漏液により内部機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。
- ◎お買い上げ時にガラス・裏蓋・バンド・金具などに保護シールが付いていることがありますので、必ずはがしてお使いください。保護シールが貼られたままご使用になりますと保護シールの裏やすき間に汚れが固着してサビが発生する場合があります。

【電池取り扱いの注意】

- ◎誤飲の危険がありますので幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだような場合には直ちに病院や医師にご相談ください。
- ◎電池寿命が切れた場合は当社サービスセンター又はお近くの時計販売店で電池交換を行ってください。
- ◎電池は必ず指定電池をご使用ください。
- ◎寿命の切れた電池を長期間入れたまま放置しますと、漏液により内部機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。

保 証 規 定 〈日本国内のみ有効〉

本製品について、通常のご使用範囲内で故障した場合、規定の通り無料修理いたします。保証期間はお買い上げ日より1年間となります。保証期間が過ぎた場合は有料となります。

【有料修理（保証対象外の内容）について】

- 以下の場合には保証期間内でも保証の対象外となり、当社規定の基本修理代金をいただきます。（※修理内容によっては料金が異なる場合もあります。）
- ①電池交換 お買い上げ後、電池切れで止まった場合は、保証期間内であっても電池交換は有料となります。（時計に組み込まれている電池は、工場出荷時に動作確認テストのために入れたものです。）お買い上げいただくまでの期間も作動し続けているため、ある程度は電池が消耗しております。このため、お買い上げ後すぐに電池容量が切れる場合もありますので、ご了承ください。
 - ②ケース・バンドの交換 摩耗・汚損・破損・変色（メッキ・ペイントのはがれ）など。
 - ③落下などの衝撃によるガラスの破損やキス
 - ④防水時計や性能範囲を超える状態で使用で内部に水が入った場合。
 - ⑤保証書が添付されていない場合
 - ⑥保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入印または、それに代わるお買い上げ日を証明するもの。（販売証明やお買い上げレシートなど）がない場合。
 - ⑦時計本体以外のパーツ紛失の取り付け。
 - ⑧時計内部に手加えられていた場合。
 - ⑨必要以上に酷使されていたと判断される場合。
 - ⑩その他当社の合理的判断に基づき有料と認められた場合。

【修理品の送付について】

修理品を送付いただく際は、当社ホームページにて掲載しております「料金受取人払の封筒キット」をご利用いただくか、郵便局の「ゆうパケット」の着払いにてお送りください。前記のサービスは厚みに制限がありますので時計を箱やパッケージからお出しいただき、キズがつかないよう、やわらかい布や紙などで保護し当社時計サービスセンター宛にお送りください。※有料修理の場合は、修理費用に往復の送料を合わせた金額を請求させていただきます。※「ゆうパケット」について詳しくは郵便局にお問い合わせください。

【修理部品について】

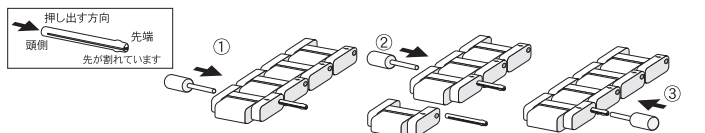
製造年数の経過した時計および製造中止の時計は、修理に際してケースや文字盤・風防・バンドなどは一部代替部品を使用させていただく場合がございます。また、修理できない場合もございますので予めご了承ください。

電池寿命と交換について

- ◎お買い上げいただきました時計は新しい正常な電池を組み込んだ後、規格寿命の期間作動いたします。お買い上げ時に組込まれている電池は、機能や性能を確認できる様、工場生産時に新しい正常な電池を組み込んでおり、お買い上げいただくまでの期間も作動し続けているため、ある程度は電池が消耗しております。このため、お買い上げ後、規格寿命に満たない内に容量が切れることがありますのでご了承ください。なお、保証期間内であっても電池交換は有料となります。
- ◎電池交換はお早めに行ってください。そのまま放置すると故障の原因となります。
- ◎裏蓋をご自分で開けると故障の原因になります。電池交換はお近くの時計店又は当社サービスセンターで行うことをお勧めいたします。
- ◎小型銀電池お取り扱い上の注意 本製品に使用されている小型銀電池を保管する際は、乳幼児の手の届かない安全な所へ置いてください。万一、飲み込んだような場合には直ちに病院や医師にご相談ください。

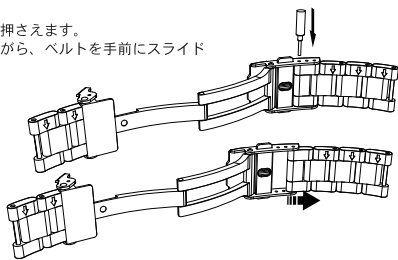
メタルベルトのサイズ調整

- ① 先端の細い金具を使いベルトを外へ押し出します。（矢印の方向へ押ししてください）
- ② 手順①を繰り返すと1つの環が取り外せます。
- ③ ベルトが適切な長さになるまで必要な数の環を取り外します。その後取り外した割ピンを再びはめてベルトを固定します。（手順①および③を行う際、割りピンは必ず頭部から押ししてください。先端側に必要な以上の力かけると壊れる恐れがあります。）



バックル部分の微調整

- ① 先端の細い金具を使いベルト側のパネ棒を押さえます。
- ② パネ棒が飛び出さないよう指でカバーしながら、ベルトを手前にスライドさせバックルから外します。
- ③ ベルトを適切な位置で固定してください。



- ⚠ ※ピンが変形したりベルトのコマから出たままの状態での使用はおやめください。※パネ棒が飛んで紛失したり、顔や目を傷つけないように十分にご注意ください。※サイズ調整は、お買い上げ店舗にご依頼ください。

故障・修理に関するお問い合わせ先



株式会社 サン・フレイム

時計サービスセンター

〒111-0041

東京都台東区元浅草2丁目11番1号

TEL. 03-3842-3844

【受付時間】

10:00～12:00 13:00～17:00

土・日・祝は休日です。

夏季・年末年始休暇は当社ホームページにてご確認ください。